

平成23年度
実施事業

事務事業名 青少年育成指導経費

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	生涯学習活動の促進
施策	3	青少年が健やかに地域で育つ環境づくり
小分類	1	地域との連携による青少年の健全育成
主要な施策	1	青少年の健全育成
事務事業番号	003	事業開始年度 昭和 37 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	社会教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	青少年非行の未然防止を図り、青少年が健やかに育つ環境を構築するとともに、登別市の担い手として模範となる青少年の健全育成を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	青少年補導センターによる巡回活動 こども110番の家の拡充 青少年問題協議会の開催
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	青少年非行の未然防止を図り、青少年が健やかに育つ環境を構築するとともに、模範となる青少年の健全育成を図るため、本年度も引き続きこども110番の家や街頭指導活動などを実施する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市青少年問題協議会設置条例、登別市青少年指導センター設置要綱

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

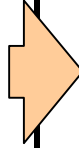
区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	612	468	875	875	875
事業費 合計			612	468	875	875	875

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	巡回指導人数	人	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			実績値	1,857	1,818			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
指導センターにおいては、巡回活動を実施。 青少年問題協議会においては、平成24年度青少年指導センターの活動計画の策定、青少年をとりまく現状・課題の共有を行った。	青少年を取り巻く状況は年々変化しており、青少年指導センターの活動についても毎年精査することが必要である。	



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 こども110番の家や街頭指導活動など、行政でなければならないことも多いため市が事業として進めるのが妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 年々、巡回活動や健全育成活動への理解・協力を得られ易くなってきたことや、自発的な協力の申し出・情報提供などがある。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 支出については現段階で必要最低限にとどめており、巡回範囲や回数などについて現状の活動を維持したままのコストダウンは難しい。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 年々、巡回活動や健全育成活動への理解・協力を得られ易くなってきたことや、自発的な協力の申し出・情報提供などがある。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	子どもたちを健やかに育てていくことは大人に課せられた責務であること、また、北海道青少年保護育成条例の改正により行政・家庭・住民の役割が明文化されたことを踏まえ、その役割や行政でなければならないことに取り組んでいく必要があると考える。
----	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----